

ワークショップ

被災者の尊厳の視点から考える紛争・災害時の人道・緊急支援 ～スフィア・スタンダード、教育ミニマムスタンダードに学ぶ～

近年、日本を含め、世界的に自然災害が多発し、長期にわたり避難所等での生活を送る人々が増加しています。また、多発する紛争により、難民キャンプ等での生活を余儀なくされる人々も増えています。

紛争・災害時の支援のあり方について、被災者の尊厳の視点から、支援の原則と基準を明確にしたのが、

「スフィア・スタンダード」「教育ミニマムスタンダード」です。これらのスタンダードは、国際的な基準であるとともに、日本の災害支援の現場での重要性も高まっています。本ワークショップでは、人道・緊急支援に関する国際基準について、基礎にある考え方、現場のニーズに根ざした支援のあり方について学び、紛争時・後の人道支援のあり方、災害支援のあり方について考察を深めます。

2018年

日時 **12月22日(土) 10:00～17:00**

場所 **お茶の水女子大学 大学本館135室**

講師 **支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク**

(JQAN) **五十嵐 豪氏** (裏面に講師紹介)

対象 **本学学生(学部、大学院生、研究生)、
他大学の学生、約40人**

参加 **参加費無料、事前申し込み制**

申込締切 **2018年12月14日(金)**

※先着順受付とし、定員になり次第申込を締め切らせていただきます。

【お問合せ】お茶の水女子大学グローバル協力センター

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 TEL&FAX:03-5978-5546

【お申込方法】件名を「12/22 ワークショップ」とし、お名前、ご所属、ご連絡先を
info-cwed@cc.ocha.ac.jp までお送りください。



ワークショップ 被災者の尊厳の視点から考える紛争・災害時の人道・緊急支援 ～スフィア・スタンダード、教育ミニмумスタンダードに学ぶ～

内容

- ✓現場のニーズに即した人道支援とは？その中での国際基準の位置づけ
- ✓支援の質、説明責任、人道支援の原則（人道性、中立性、公平性、独立性、等）とは
- ✓スフィア・スタンダードとは？スフィア・スタンダードを用いたワークショップで学ぶ
- ✓ジェンダーに基づく暴力（GBV）への配慮について
- ✓INEE ミニмум・スタンダードとは？ INEE ミニмум・スタンダードを用いたワークショップで学ぶ
- ✓参加者による発表、ディスカッション等

講師



五十嵐 豪氏（プログラスマネージャー／AAR Japan（難民を助ける会））

2009年より現職。数多くの海外・国内の自然災害や人道危機の緊急支援の現場に出動したほか、現在は人道支援に携わる人材育成のための研修講師やモジュール開発にも携わっている。



アクセス

●最寄駅から

東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」徒歩7分
東京メトロ有楽町線「護国寺駅」徒歩8分
都営バス都02乙「春日駅（一ツ橋）行」
大塚二丁目下車

※詳細については

本学ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.ocha.ac.jp/access/>

●キャンパスマップ



申込方法

- ・お名前・ご所属（大学名・学部・学年等）・ご連絡先（住所／電話番号／メールアドレス）を明記の上、info-cwed@cc.ocha.ac.jp までお送りください。
- ・件名は「12/22 ワークショップ」としてください。
- ・受付は先着順です。定員になり次第締め切らせて頂きます。
- ・申込み手続きが完了しましたら、受付確認メールを送信します。